

平成 28 年 5 月 31 日

平成 28 年度上期の消費動向調査について

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	年 2 回(4 月、10 月)、県民の暮らし向きや収入、支出動向を調査し、消費の現状を把握するとともに、今後の消費がどのように変化していくか見通しを示し、卸・小売事業者などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。また今回は、平成 29 年 4 月に予定されている消費再増税についての質問を設けた。
調査時期	平成 28 年 4 月下旬
調査対象	鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者
調査方法	回答者本人が記入(無記名式)
回答数	有効回答数 717 人

用語 D. I. = 「良い(良くなる)」- 「悪い(悪くなる)」、「増えた(増やす)」- 「減った(減らす)」、いずれも回答割合

【調査結果のポイント】

1. 暮らし向きや消費について

- ・現在の暮らし向きについては「普通」が 70.5% と最も多く、次いで「どちらかという悪い」(16.2%)、「どちらかという良い」(9.7%)、「良い」(2.3%)、「悪い」(1.4%) の順となった。その結果 D.I. は▲5.6 となり、前回調査(27 年 10 月)の▲4.8 から 0.8^{ポイント}下落した。前回から連続して悪化しており、現在の暮らし向きに対する見方は厳しさを増している。
- ・今後の暮らし向きについて、D.I. は▲33.3 で、前回調査(▲21.7)よりも悪化した。
- ・商品・サービスの価格 D.I. は 52.6 で、26 年 10 月調査以降下落を続けている。D.I. は依然として高水準であるものの、物価上昇のペースは鈍化傾向といえる。

2. 平成 29 年 4 月に予定されている消費再増税(10%)について

- ・税負担増加への対応として、「支出を減らす」が 51.4% で過半数となり、その方法は「ぜいたく消費を控え、必要な物だけを買う」が 61.9% で最も多く、次いで「より安い店で買い物をする」(54.5%)、「外食を控える」(50.7%) などの順となった。
- ・消費再増税前の買いだめについて、前回増税前と比べて「変わらない」が 69.0% で最多となった。また、消費再増税を考慮して購入したもの(購入予定含む)は、「家電製品」が 35.5% と最も多く、次いで「食料品・日用品」(34.6%)、「自動車・自動車関係」(31.5%) などとなった。

回答者属性

【性別】 男性 35.1% 女性 55.6% 不明 9.2%

【年齢別】 10代 0.4% 20代 17.7% 30代 20.1% 40代 24.3%
50代 19.9% 60代 13.1% 70代以上 4.0% 不明 0.4%

【職業別】 会社員 57.3% 商工業自営 5.7% 公務員 4.9%
団体職員 4.3% その他自営 2.1% その他(主婦・年金生活者等) 23.7%
不明 2.0%

1. 暮らし向きや消費について

(1) 現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては「普通」が 70.5%と最も多く、次いで「どちらかという悪い」(16.2%)、「どちらかという良い」(9.7%)、「良い」(2.3%)、「悪い」(1.4%)の順となった(図表1)。その結果D.I.は▲5.6となり、前回調査(27年10月)の▲4.8から0.8^{ポイント}下落した。前回から連続して悪化しており、現在の暮らし向きに対する見方は厳しさを増している。食料品など身近な商品の値上げは一巡したものの、賃金や賞与の支給状況の改善が鈍く、所得環境の改善が足踏み状態であることが、暮らし向き回復に結びつかない要因になっていると思われる。

年代別にみると、30代以降ではマイナスとなっており、特に70代以上は前回調査から17.8^{ポイント}低下した(図表2)。ただ、50代は依然マイナス圏内であるものの、前回調査から15.6^{ポイント}改善した。

(2) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向きについては「変わらない」が53.9%と最も多く、次いで「やや悪くなる」(35.9%)、「やや良くなる」(5.4%)、「悪くなる」(3.8%)、「良くなる」(1.0%)の順となった(図表3)。D.I.は▲33.3となり、前回調査の▲21.7から11.6^{ポイント}悪化した。D.I.を年代別にみると、前回調査より70代以上で改善しているものの、20~60代は全てマイナスとなっており、幅広い年齢層において先行きに対する不安が強いことがうかがえる(図表4)。

また、不安要素として、「年金問題」が56.3%で最も多く、以下「収入面」(42.5%)、「税金・社会保障負担増」(41.4%)の順となっている(図表5)。年代別にみると、10代は「収入面」、20代は「年金問題」「収入面」、30代は「年金問題」「税金・社会保障の負担増」、40~60代は「年金問題」、70代以上では「医療・介護費の負担増」が最多となっている。

(3) 収入

半年前と比較した収入は「変わらない」が74.1%と最も多く、次いで「減った」(13.9%)、「増えた」(12.0%)となった(図表6)。D.I.は▲1.9と前回調査から1.4^{ポイント}改善した。

年代別にみると、30代以下と40代以降で特徴的な動きとなった(図表7)。まず、30代以下ではD.I.はプラス圏であるが前回調査より下落した。一方、40代以降ではD.I.は依然としてマイナス圏内にとどまっているものの、改善している。特に40代が6.1^{ポイント}改善し、近年の賃上げの動きが中高年層にも表れている。

また、**今後の収入の増減**については「変わらない」が58.4%で最も多く、次いで「減る」(31.5%)、「増える」(10.1%)となり、D.I.は▲21.4だった(図表8)。

年代別にみると、40代以降ではマイナスになり、特に50代以降になるとマイナス幅も拡大している(図表9)。中高年層で先行きの収入に対する不安が大きいことがうかがえる。

(4) 支出

半年前と比較した支出は「変わらない」が48.2%と最も多く、「増えた」(44.7%)、「減った」(7.0%)が続いた(図表10)。平成26年4月の消費増税後、前回調査まで支出は「増えた」が最も多かったが、今回調査では順位が入れ替わり、「変わらない」が最多となった。また、D.I.も37.7と前回調査(41.1)を下回り、食料品など身近な商品の値上がりの影響がやや落ち着いてきたとみられる。

年代別にみると、40代、60代で増加した(図表11)。

(5) 商品・サービスの価格

半年前と比較した商品やサービスの価格は「上がった」が55.2%で最も多くなった(図表12)。ただ、D.I.は52.6となり、前回調査(57.4)と比較して下落した。円安の一巡、原油価格の下落などもあり、物価上昇ペースの鈍化を反映しているとみられる。

品目別のD.I.をみると、全て前回調査から下落した。特に、「通信関係費」、「食料品」の下落幅が大きかった(図表13)。

(6) 今後の支出

今後半年間の支出動向については、「増やす」とした割合が高かった品目として「教育費」(24.4%)、「住宅関係」(17.6%)、「自動車関係費」(17.4%)が上位となった(図表14)。一方、「減らす」とした割合が高かった品目は「一般雑貨・アクセサリなど」(37.3%)、「娯楽費」(35.0%)、「交際費」(28.1%)などが挙げられている。

支出D.I.(品目別・年代別)をみると、「教育費」「住宅関係」「自動車関係費」「保健・医療サービス」などでは支出増加が見込まれる(図表15)。一方、「一般雑貨・アクセサリなど」「娯楽費」「その他身の回り品」など8品目は20代以上の全ての年代でD.I.がマイナスとなった。

物価上昇ペースは鈍っているとはいえ、将来に対する不安から暮らし向きが改善しない中で、真に必要な支出を見極め、不要不急の支出を避けている様子が見える。

(7) 食料品・日用品の主な購入先

食料品・日用品の主な購入先は「スーパー」が88.6%と最も多く、次いで「ドラッグストア」(45.5%)、「ショッピングセンター」(34.6%)、「コンビニエンスストア」(34.2%)、「ネットスーパー」(9.2%)、「百貨店」(7.6%)、「商店街」(5.2%)、「その他」(1.0%)、「移動販売」(0.6%)の順となった(図表16)。

(8) 商品購入の際重視すること

商品購入の際重視することは「価格」が81.0%と最も多く、次いで「安心・安全」(77.0%)、「生産地」(30.2%)、「質・ブランド」(20.7%)、「店のサービス」(15.6%)、「デザイン・見た目」(14.8%)、「環境に配慮した商品」(6.4%)、「特にない」(0.4%)、「その他」(0.3%)の順となった(図表17)。

年代別の特徴としては、年代が上がるにつれ「価格」「デザイン・見た目」を挙げる割合が低下する一方で、「環境に配慮した商品」を挙げる割合が増加する傾向にある。

2. 平成29年4月に予定されている消費増税(10%)について

(1) 消費増税への対応

消費増税への対応としては「支出を減らす」が51.4%と最多となった(図表18)。ただ、前回増税前調査(消費税8%への引き上げ前の13年10月実施)と比べて、「支出を減らす」は前回は9.8^{ポイント}下回る一方、「何もしていない」が5.3^{ポイント}、「わからない」は6.2^{ポイント}それぞれ上回った。そのほか、「収入を増やす」は2.6%で1.8^{ポイント}下回った。支出を減らそうにも減らせないことや、現時点での対応策を決めあぐねていることがうかがえる。

また、「支出を減らす」方法として、「ぜいたく消費を控え、必要な物だけを買う」が61.9%で最も多く、次いで「より安い店で買い物をする」(54.5%)、「外食を控える」(50.7%)などの順となった(図表19)。

(2) 前回増税前と比べた買いだめの変化

消費増税前の買いだめについて、前回増税前と比べて「変わらない」が69.0%で最多となった(図表20)。次いで「増やす(「増やす」と「どちらかと言うと増やす」の合計)」(22.8%)、「減らす(「減らす」と「どちらかと言うと減らす」の合計)」(8.2%)の順だった。

また、消費増税を考慮して購入したもの(購入予定含む)は、「家電製品」が35.5%と最も多く、次いで「食料品・日用品」(34.6%)、「自動車・自動車関係」(31.5%)などとなった。

以上

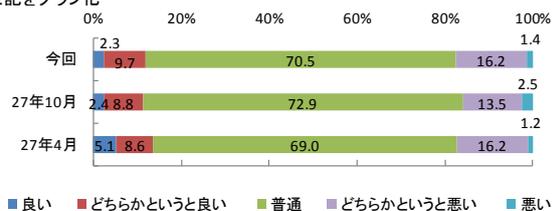
【本件に関するお問い合わせ】 榊九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)

【暮らし向きや消費について】

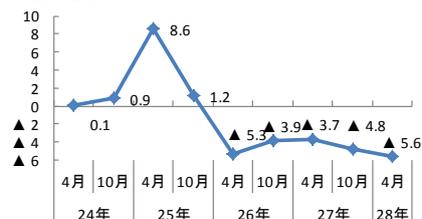
図表1 現在の暮らし向き (%)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良い	5.1	2.4	2.3	▲ 0.1
どちらかというが良い	8.6	8.8	9.7	▲ 0.9
普通	69.0	72.9	70.5	▲ 2.4
どちらかというが悪い	16.2	13.5	16.2	▲ 2.7
悪い	1.2	2.5	1.4	▲ 1.1
D. I.	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 5.6	▲ 0.8

上記をグラフ化



現在の暮らし向きD.I.の推移



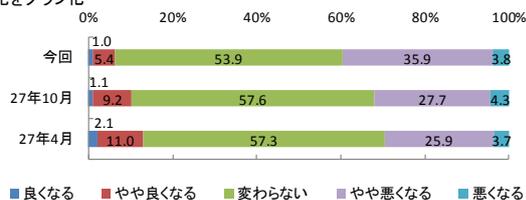
図表2 現在の暮らし向きD. I. (年代別) (D. I.)

年代	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 5.6	▲ 0.8
10代	42.9	25.0	0.0	▲ 25.0
20代	7.8	4.0	5.6	▲ 1.6
30代	2.2	4.5	▲ 1.4	▲ 5.9
40代	▲ 13.1	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 5.5
50代	▲ 8.1	▲ 19.1	▲ 3.5	15.6
60代	▲ 3.5	▲ 4.7	▲ 11.6	▲ 6.9
70代以上	▲ 20.8	▲ 2.9	▲ 20.7	▲ 17.8

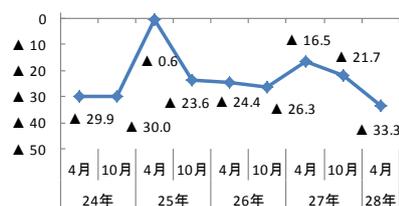
図表3 今後の暮らし向き (%)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良くなる	2.1	1.1	1.0	▲ 0.1
やや良くなる	11.0	9.2	5.4	▲ 3.8
変わらない	57.3	57.6	53.9	▲ 3.7
やや悪くなる	25.9	27.7	35.9	▲ 8.2
悪くなる	3.7	4.3	3.8	▲ 0.5
D. I.	▲ 16.5	▲ 21.7	▲ 33.3	▲ 11.6

上記をグラフ化



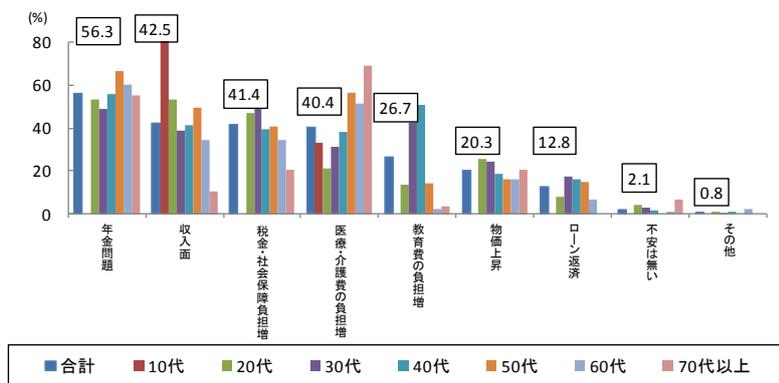
今後の暮らし向きD.I.の推移



図表4 今後の暮らし向きD.I.(年代別) (D.I.)

年代	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲ 16.5	▲ 21.7	▲ 33.3	▲ 11.6
10代	42.9	0.0	0.0	0.0
20代	1.6	▲ 1.6	▲ 17.6	▲ 16.0
30代	▲ 1.4	▲ 15.8	▲ 25.2	▲ 9.4
40代	▲ 25.6	▲ 19.7	▲ 40.1	▲ 20.4
50代	▲ 25.6	▲ 41.0	▲ 46.9	▲ 5.9
60代	▲ 35.6	▲ 27.9	▲ 40.4	▲ 12.5
70代以上	▲ 34.5	▲ 25.7	▲ 20.6	5.1

図表5 将来の不安要素

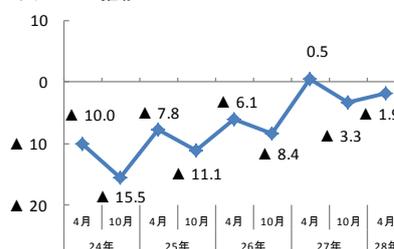


注) 数値は全体

図表6 収入(半年前比)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた	15.7	12.8	12.0	▲ 0.8
変わらない	69.1	71.1	74.1	▲ 3.0
減った	15.2	16.1	13.9	▲ 2.2
D. I.	0.5	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 1.4

収入D.I.の推移



図表7 収入D. I. (年代別)

年代	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	0.5	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 1.4
10代	16.7	50.0	33.3	▲ 16.7
20代	27.3	24.2	24.0	▲ 0.2
30代	14.5	14.9	8.4	▲ 6.5
40代	▲ 4.3	▲ 7.3	▲ 1.2	▲ 6.1
50代	▲ 15.9	▲ 16.5	▲ 13.3	▲ 3.2
60代	▲ 16.1	▲ 24.4	▲ 23.7	▲ 0.7
70代以上	▲ 34.5	▲ 45.7	▲ 44.8	▲ 0.9

図表8 今後の収入 (%)

項目	今回
増える	10.1
変わらない	58.4
減る	31.5
D. I.	▲ 21.4

図表9 今後の収入D. I. (年代別) (D. I.)

年代	今回
全体	▲ 21.4
10代	0.0
20代	11.4
30代	4.9
40代	▲ 16.1
50代	▲ 54.5
60代	▲ 54.8
70代以上	▲ 51.7

図表10 支出(半年前比)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた	47.9	49.3	44.7	▲ 4.6
変わらない	45.3	42.5	48.2	▲ 5.7
減った	6.8	8.2	7.0	▲ 1.2
D. I.	41.1	41.1	37.7	▲ 3.4

支出D.I.の推移



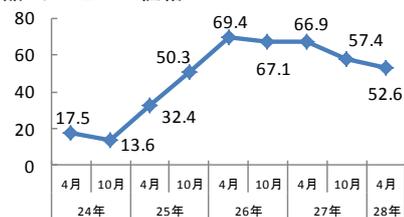
図表11 支出D. I. (年代別)

年代	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	41.1	41.1	37.7	▲ 3.4
10代	16.6	100.0	66.7	▲ 33.3
20代	48.8	47.2	46.4	▲ 0.8
30代	43.8	52.3	50.7	▲ 1.6
40代	50.6	49.8	51.2	▲ 1.4
50代	35.6	37.6	23.9	▲ 13.7
60代	24.4	8.1	10.8	▲ 2.7
70代以上	27.6	22.9	6.9	▲ 16.0

図表12 商品・サービスの価格(半年前比) (%)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
上がった	68.2	59.6	55.2	▲ 4.4
変わらない	30.5	38.1	42.2	4.1
下がった	1.3	2.2	2.6	0.4
D. I.	66.9	57.4	52.6	▲ 4.8

商品・サービスの価格D.I.



図表13 商品・サービスの価格D. I. (品目別)

項目	27年4月	27年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
食料品	82.2	82.7	72.6	▲ 10.1
自動車・自動車関連費(車検など)	49.7	43.8	36.1	▲ 7.7
教育費(授業料・塾など)	32.2	34.6	34.2	▲ 0.4
通信関係費(携帯電話など)	34.9	44.0	33.5	▲ 10.5
旅行・宿泊費	28.5	28.6	26.0	▲ 2.6
衣服・履物費(洋服・靴など)	35.4	27.9	22.2	▲ 5.7
理美容費(化粧品・散髪など)	27.4	22.7	17.6	▲ 5.1
家電製品(エアコン・TVなど)	24.7	17.4	15.1	▲ 2.3
家具(たんす・ソファなど)	19.1	11.1	10.8	▲ 0.3

図表14 今後半年間の支出(品目別)

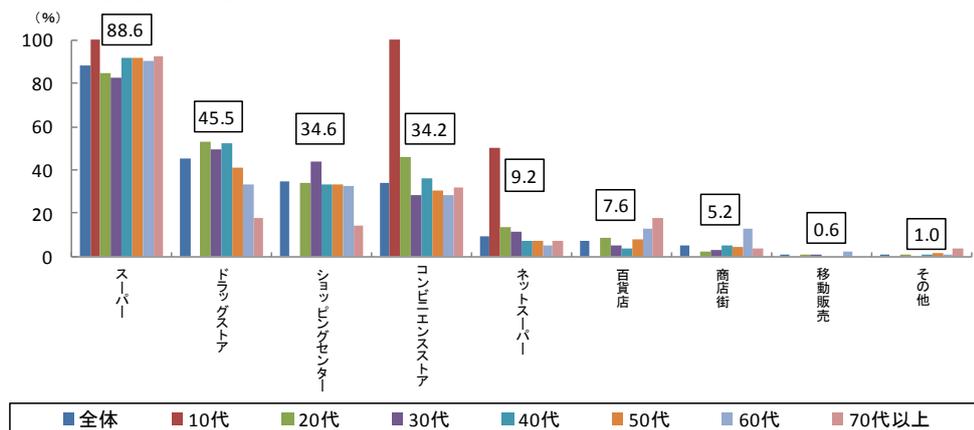
品目	増やす			減らす			D. I.		
	増やす	変わらない	減らす	27年4月	27年10月	今回			
教育費(授業料・塾など)	24.4	67.1	8.5	15.5	15.0	15.9			
住宅関係(リフォームなど)	17.6	75.2	7.2	6.1	13.7	10.4			
自動車関係費(車検など)	17.4	74.0	8.6	9.5	9.0	8.8			
習い事の月謝など	15.8	70.9	13.3	3.8	2.0	2.5			
自動車	15.5	74.3	10.2	4.5	6.2	5.3			
保健・医療サービス	15.3	75.6	9.2	12.9	13.8	6.1			
家電製品(エアコン・TVなど)	13.6	74.6	11.8	4.5	7.4	1.8			
金融商品(投資信託・保険など)	11.3	74.4	14.3	3.7	▲ 0.8	▲ 3.0			
食費	11.1	66.4	22.5	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 11.4			
書籍等購入費(書籍・CDなど)	10.2	71.3	18.5	▲ 6.0	▲ 5.2	▲ 8.3			
交際費(贈答品・飲み会など)	8.8	63.0	28.1	▲ 12.4	▲ 13.1	▲ 19.3			
衣服・履物費(洋服・靴など)	8.8	63.7	27.5	▲ 13.8	▲ 13.5	▲ 18.7			
旅行・宿泊費	8.7	63.7	27.7	▲ 10.5	▲ 11.9	▲ 19.0			
通信関係費(携帯電話など)	7.7	67.0	25.3	▲ 13.2	▲ 9.5	▲ 17.6			
家具(たんす・ソファなど)	7.6	78.9	13.5	▲ 3.6	▲ 2.6	▲ 5.9			
住宅・マンション	6.8	87.5	5.7	3.0	5.6	1.1			
娯楽費	5.3	59.7	35.0	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 29.7			
理美容費(化粧品・散髪など)	4.0	79.0	17.1	▲ 11.1	▲ 12.6	▲ 13.1			
その他身の回り品	3.0	70.5	26.5	▲ 18.2	▲ 18.8	▲ 23.5			
一般雑貨・アクセサリなど	2.4	60.3	37.3	▲ 26.4	▲ 30.8	▲ 34.9			

図表15 支出D. I. (品目別・年代別)

	教育費	住宅関係(リフォームなど)	自動車関係費(車検など)	保健・医療サービス	自動車	習い事の月謝など	家電製品(エアコン・TVなど)	住宅・マンション	金融商品(投資信託・保険など)	家具(たんす・ソファなど)
全体	15.9	10.4	8.8	6.1	5.3	2.5	1.8	1.1	▲ 3.0	▲ 5.9
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	0.0	1.0	12.3	5.8	9.5	▲ 2.9	7.8	6.0	16.5	4.9
30代	23.7	6.4	7.0	6.2	11.1	22.6	7.8	5.2	8.1	1.8
40代	42.5	7.3	18.6	5.3	7.1	11.2	0.0	▲ 3.2	▲ 7.9	▲ 8.9
50代	5.0	21.5	6.2	5.0	0.9	▲ 16.1	▲ 0.9	▲ 2.8	▲ 16.3	▲ 14.1
60代	▲ 22.7	17.6	0.0	3.1	▲ 1.7	▲ 20.3	▲ 8.4	▲ 3.5	▲ 24.1	▲ 16.0
70代以上	6.2	10.5	▲ 13.7	27.3	▲ 9.5	11.1	▲ 9.5	5.3	5.6	▲ 18.2

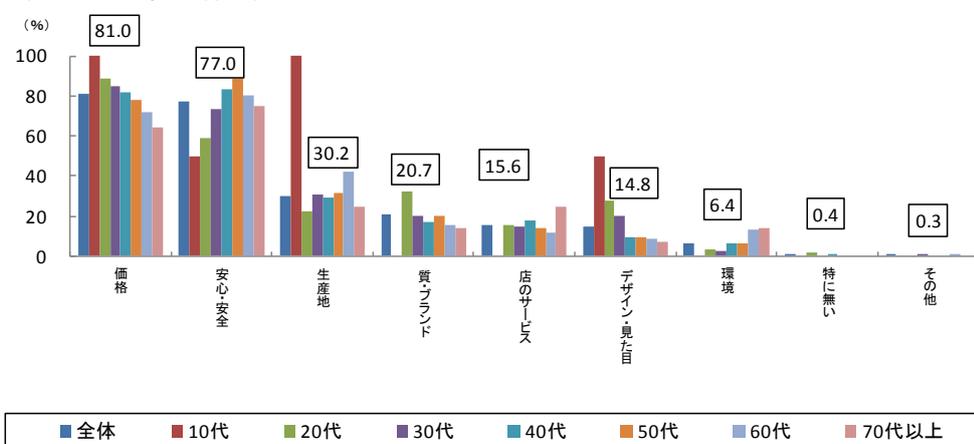
	書籍等購入費(書籍・CDなど)	食費	理美容費(化粧品・散髪など)	通信関係費(携帯電話など)	衣服・履物費(洋服・靴など)	旅行・宿泊費	交際費(贈答品・飲み会など)	その他の回り品	娯楽費	一般雑貨・アクセサリーなど
全体	▲ 8.3	▲ 11.4	▲ 13.1	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 19.0	▲ 19.3	▲ 23.5	▲ 29.7	▲ 34.9
10代	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	11.7	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 23.2	▲ 4.6	▲ 3.8	▲ 2.8	▲ 15.2	▲ 11.3	▲ 17.7
30代	▲ 7.0	2.5	▲ 4.2	▲ 16.3	▲ 11.7	▲ 26.3	▲ 20.0	▲ 12.2	▲ 28.0	▲ 29.1
40代	▲ 13.2	▲ 10.9	▲ 19.3	▲ 12.6	▲ 19.8	▲ 22.4	▲ 23.5	▲ 32.7	▲ 34.6	▲ 38.6
50代	▲ 12.6	▲ 26.1	▲ 14.6	▲ 13.2	▲ 30.4	▲ 19.4	▲ 26.3	▲ 32.9	▲ 42.2	▲ 45.4
60代	▲ 26.7	▲ 20.3	▲ 25.4	▲ 28.8	▲ 31.8	▲ 21.6	▲ 18.2	▲ 31.3	▲ 31.6	▲ 51.7
70代以上	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 26.1	▲ 22.2	▲ 36.4	▲ 11.7	▲ 33.3	▲ 33.3

図表16 食料品・日用品の主な購入先(年代別)



注)複数回答、数値は全体

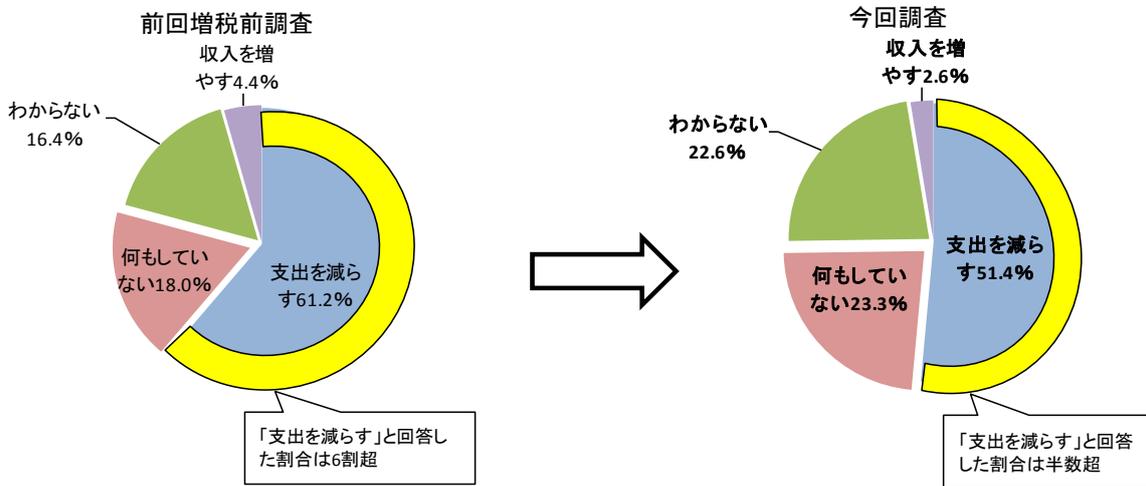
図表17 商品購入の際重視すること(年代別)



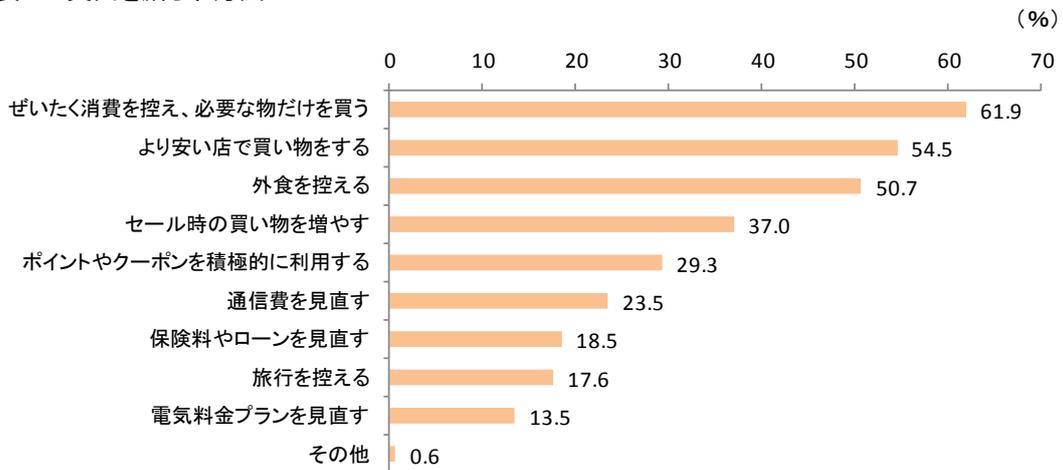
注)複数回答、数値は全体

【平成 29 年 4 月に予定されている消費増税について】

図表18 消費増税への対応

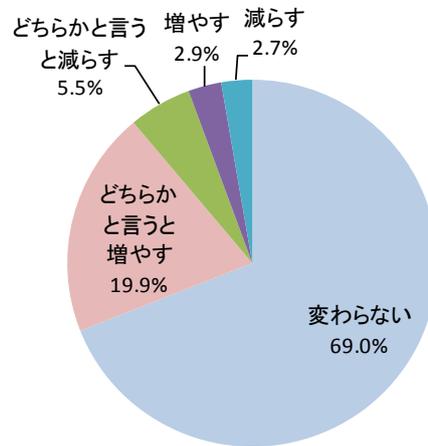


図表19 支出を減らす方法

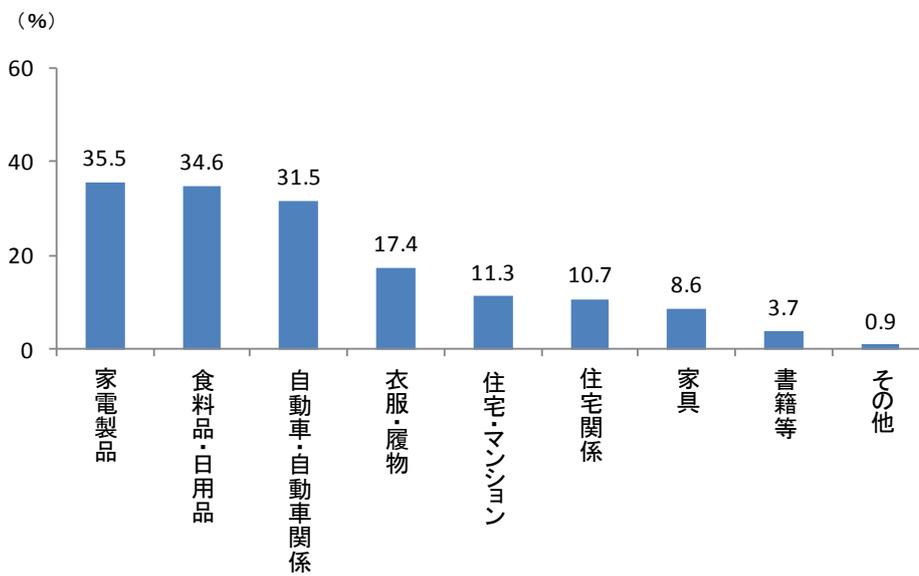


注)・「支出を減らす」のみ回答
・複数回答

図表20 前回増税前と比べた買いだめの変化



図表21 消費増税前に備えてあらかじめ購入したもの(購入予定含む)



注)複数回答